

## 次期ユネスコ中期戦略(2022年～2029年)について

ユネスコ中期戦略は、ユネスコの活動に関する戦略的見通し及び事業の枠組を定めた8カ年の戦略であり、ユネスコの事業運営に関する基本文書。ユネスコ総会において事務局提案が議論され、加盟国が承認する。

現行の中期戦略(2014年～2021年)は、「平和」と「持続可能な開発」の2つの包括的目標の下に、その実現にあたっての9つの戦略目標を設定。また、「アフリカ」及び「ジェンダー平等」の2点を地球規模の優先課題として設定(別添参照)。

次期ユネスコ中期戦略については、2019年に開催される第40回ユネスコ総会で国際的な検討が開始される見込みであり、それに先立ち、日本ユネスコ国内委員会でも、日本として盛り込むべきと考える事項について、以下のような点について、議論を行っていく必要がある。

### ○ 次期ユネスコ中期戦略の検討に向けた論点(例)

- 2030年を期限とする持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた、ユネスコの事業・体制について
- SDGsの達成に向けて、我が国が貢献するイニシアティブの提案について
  - ・ 持続可能な開発のための教育(ESD)の一層の推進
  - ・ 科学事業間の連携の促進
  - ・ その他
- ユネスコ活動の一層の普及・推進のための、民間ユネスコ活動の更なる活性化について

## ユネスコ中期戦略(2014年～2021年)(イメージ)

ユネスコ憲章

### ミッションステートメント

ユネスコは、国際連合の専門機関として、またその憲章に従って、教育、科学、文化及びコミュニケーション・情報の分野を通じて、平和の構築、貧困の撲滅、持続可能な開発及び異文化間の対話に貢献する。

包括的目標

平和  
(持続的な平和への貢献)

持続可能な開発  
(持続可能な開発と貧困撲滅への貢

地球規模の  
優先課題

アフリカ

ジェンダー平等

戦略目標

戦略目標 1 :

万人のための質の高い・包摂的な生涯学習を促進する教育制度の加盟国による開発の支援

戦略目標 2 :

学習者の創造性及びグローバル・シチズンとしての責任の強化

戦略目標 3 :

万人のための教育 (EFA) の促進と将来の国際教育アジェンダの形成

戦略目標 4 :

持続可能な開発のための科学、政策及び社会と倫理的で包括的な政策との連携の促進

戦略目標 5 :

平和、持続可能性及び社会的包摂のための国際科学協力の強化

戦略目標 6 :

包摂的社会開発の支援及び文化の関係改善のための文化間対話の促進

戦略目標 7 :

遺産の保護、理解増進及び周知

戦略目標 8 :

創造性の涵養及び文化的表現の多様性

戦略目標 9 :

表現の自由、メディア開発及び情報・知識への普遍的なアクセスの促進

紛争・災害後の諸国に対するユネスコの活動領域での支援